

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 5 月 21 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0170401806		
法人名	株式会社 ウェルネスヒューマンケア		
事業所名	グループホーム ウェルネス こすもす		
所在地	札幌市手稲区新発寒6条9丁目4-3 (電話) 011-691-3411		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成20年5月16日	評価確定日	平成20年6月5日

## 【情報提供票より】(平成20年4月1日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 3月 27日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 18人, 非常勤 0人, 常勤換算 9.6 人	

## (2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	18,000 円
敷金	有(90,000円)		暖房費(11~3月) 8,000円
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

## (4) 利用者の概要(5月16日現在)

利用者人数	18名	男性 3名	女性 15名
要介護1	4名	要介護2	7名
要介護3	6名	要介護4	1名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 82.1歳	最低 64歳	最高 94歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	洞田内科クリニック、さくら歯科クリニック
---------	----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

郊外の住宅街の中にあるログハウスを基調とした建物内は、どこもゆとりがあり、「のんびり、ゆったり」とした暮らしの中で、利用者とスタッフが良く調和されていることが特徴といえます。入口や玄関ドアにセンサーやベルなど全く見当たらず、ホーム内は、開放感が満ち溢れており、利用者は上下階のユニットを自由に行き交うなどしています。近隣の幼稚園児の訪問があるなど、利用者との楽しい交流が続いています。利用者一人ひとりの外出希望を満たすため、スタッフとの個別の外出を2ヵ月に一度計画的に実施するなど、画期的な支援の取り組みがなされています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価で課題となった事項に対する取り組みでは、大半が改善もしくは、その途上にあります。これら課題は、運営推進会議においても公表され、特に地域との交流ではアイデアが協議されるなどしています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) スタッフ全員で検討し、協議を重ねた自己評価を作成しており、経過の中で改善すべき項目を見つけだすなど、真摯な取り組みへの態度は評価されます。今後は、「改善計画シート」を利用した取り組みの成果を期待します。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 会議の内容は、構成するメンバーの熱心なホームに対する温かさが感じられます。ヒヤリハットの内容やインフルエンザの対応など、細やかに説明しながら認知症に対する理解を求めています。今後は、外部評価への取り組みと経過の説明、災害時の避難に係わる地域住民の協力などをテーマとしながら、出席するメンバーの範囲を柔軟に対応するなどして、マンネリ化を防止する取り組みも考慮されるよう期待します。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族の意見・要望などは、家族の訪問時に聞かせていただくよう努めています。昨年、利用者と家族、スタッフが一緒に出かけた日帰り温泉旅行は、大変好評であり、色々な意見・要望など生の声を聞くことができました。管理者は即座に運営に反映するよう努めているほか、今後も継続した温泉旅行の実施を計画しており、さらなる成果を期待します。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域でのお付き合いは、町内会の深い理解を得ながら良くてきています。町内会行事のお祭り、ゴミ拾い、公園の草刈りなど、利用者も積極的に参加しています。また、近くの幼稚園や保育所の園児が度々ホームを訪問してくれるなど、交流の絆が強いものとなっています。これからも地域に密着したホームとしての取り組みに期待します。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念には、地域密着の語句はありませんが、利用者とスタッフが地域の中で支えあう体制ができています。従来の理念に加え地域密着型のグループホームである部分を追加するよう検討をしています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者とスタッフは、日々のサービスで、理念が生かされるよう学習会で確認をするほか、ホーム全体に気配りをしながら実現に向けた取り組みが行なわれています。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域住民とのお付き合いは、とても良くできています。町内会行事のお祭り、ゴミ拾い、草刈りなど、積極的に参加していますが、なかでも、近隣の幼稚園や保育所との交流は、利用者の楽しみでもあります。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義は、スタッフに浸透しており、自己評価も長い時間を掛けて作り上げています。また、前回の外部評価で示された改善への取り組みは、多くの点で改善が見られますが、一部改善の途上にあります。	○	利用者の権利・義務の明示や食事の栄養管理、また、地域との交流促進など、多くの取り組みが行なわれ、具体的な改善に結びついています。一部のスタッフの声の大きさやホーム全体の温かさを更に増すことを期待します。また、「改善計画シート」の採用も期待します。

札幌市手稲区 グループホーム ウエルネス こすもす

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議記録では、参加メンバーの熱心な温かさが感じられます。インフルエンザの対応や、ヒヤリハットを公表するなど、利用者の生活を理解していただく努力が見られます。今後は、メンバーの範囲を広げるなど、柔軟な対応により、会議内容を豊かにする取り組みを期待します。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	区の担当者とは、毎月のように連絡と訪問を得て情報の交換をしています。また、最近組織化された管理者会議を通して、区内での研修会企画など、区の担当者と連携を深めて、サービスの質の向上を図る取り組みが始まりました。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月発行のホーム便り「こすもす」は、紙面が読みやすく、家族への提案を載せるなど、工夫が見られます。利用者一人ひとりの家族の方へ、健康や暮らしぶりなどを知らせる「お便り」には、担当のスタッフが、写真を添付するなど、家族にとって楽しみ、安心の絆となっています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に「ご意見箱」の設置はありますが、家族の訪問時や、行事に参加した際にも、意見をいただく機会を作っています。昨年開催した利用者と家族、スタッフによる温泉旅行は、家族の生の声をいただく良い機会となり、これからも継続することとしています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	採用直後に退職するケースは若干あるものの、定着率は良く利用者と馴染みの関係はできています。運営者は、上下階のユニット間でスタッフの異動を行ない、サービスの質の均等化を図っています。異動の際には、管理者始めユニット主任が、利用者のダメージを防ぐ配慮が行なわれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム内では、ケアプランの学習会や新人研修など充実したスタッフ育成の機会を設けていますが、外部研修の受講によるスキルアップのための、機会の確保については、まだ十分とはいえません。	○	従来の内部研修は大切であり継続を望みますが、多様化した外部研修の受講は、スタッフのスキルアップとホームの質の向上に貢献します。年間の研修期日を把握して、計画的な受講プラン作りと積極的な参加の取り組みを期待します。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	開設3年を迎えて、同業者との交流やネットワーク作りができておらず、交流を通じたサービスの質の向上には至っていません。	○	区内の管理者会議を通してネットワーク作りが大切であり、近隣のグループホームとの相互訪問の実施や、ホーム行事に招待するなど、できることから着手しながら、サービスの質の向上に向けた取り組みを期待します。
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者が入居後の1ヵ月は、暫定のケアプランでサービスを提供しながら、利用者の、情報収集に専ら当たっています。ホームの雰囲気になれるまでは、ホームの決まりを優先することを極力避けて、暮らしに馴染めるよう配慮がなされています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	スタッフは、毎日の料理の味付けや、利用者の馴染みの調理法を、教えてもらうようにしています。また、時には人生相談にも応じてくれるなど、互いに支え合いながら温かい関係を築くようにしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプラン作成に際しては、利用者から、食べたいもの、でかけたいところなど、希望や思い、意見などを引きだし、できるだけ実現できるよう配慮しています。また、家族からもヒントを得るなど、把握に努めています。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	最初に入居される際には、暫定のケアプランにより、利用者本人の暮らしに関する多くの情報をできるだけ把握することに努めています。また、ケアプランの重要性を家族と話し合い、協力を得ながら利用者本位のケアプランを作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	1ヵ月ごとに、ケアプランの見直しが必要かどうかのアセスメントをしながら、プラン見直しの対応に備えています。期間的には3ヵ月の短期プランと6ヵ月の長期プランを設定し、レベルの急激な変化に対しては、家族の方も参加していただくなど、その都度見直すことにしています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の方の状況により、利用者本位の要望に応えるため、ホームの車両を利用した通院の送迎や付き添い、また、買物、理美容院への送迎をしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医からは、以前からの細やかな情報や、現況についての情報交換をしています。必要な場合は付き添いで、受診の支援をしています。また、ホームの協力医療機関による隔週の往診が行なわれています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居の際には、契約書に掲載の「契約の終了」に基づく医療行為などの対応を説明して、家族の方の理解を得ていますが、今後は、重度化に対する指針を作成しながら、終末期への対応をさらに検討することとしています。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ケア理念にある利用者の「尊厳」を最大限に守るため、プライバシーの確保には、特に気を配っています。利用者への言葉かけや接遇、記録への配慮など、管理者とスタッフは、日々確認をし合いながら、徹底化への共有を図っています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームの一日の流れはありますが、利用者一人ひとりのペースを大切にしながら、希望に添った暮らしへの支援をしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は、毎日の食事準備や後片付けを楽しみにして参加しています。一人ひとりが役割をもち、調理の下ごしらえや利用者の茶碗、箸、湯飲みなどを配ったりして参加しています。スタッフとともに利用者のペースで、楽しみながら食事をしています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	原則週2回の入浴が行なわれていますが、毎日の入浴希望もあり、できるだけ希望に添っています。夜間の入浴は、スタッフの関係で実施されませんが、将来的には、人員配置による対応も検討しています。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の役割は、過去の生活歴などに起因することが多く、自然に出来上がっており、暮らしの中でアクセントとなっています。訪問者へのお茶だし、日々のゴミだし、調理の下ごしらえ、菜園での作業など、スタッフの支援を受けて、日常的に続けられています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は毎日、散歩をしています。2ヵ月に1度、利用者全員が順番に、スタッフと個別に利用者の要望に沿った外出をします。買物、ドライブなど利用者の希望を聞きながら、予定表をたてて実現しています。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間のみ、防犯目的のため玄関の施錠をしますが、昼間は一切施錠はしていません。スタッフの十分な見守りにより、安心できるケアが日常的に取り組まれています。		

札幌市手稲区 グループホーム ウエルネス こすもす

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	自主的な避難訓練は、年2回の実施が見られますが、夜間を想定した避難訓練は、行なわれてなく、緊急時に際しての不安が残ります。また、地域の住民との協力体制も確立されていません。	○	人手の少ない夜間を想定した避難訓練は不可欠です。避難場所の確認、さらには地域の住民の方々の協力を得た、マニュアル作りへの取り組みを望みます。また、スタッフ全員の救急救命の訓練の実施によるスキルアップを期待します。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の状況に応じた栄養バランスや水分摂取が細やかに記録され支援されています。献立はスタッフがそれぞれ考え、メニューのパターンがユニット毎に交換され飽きのこない食事となっており、栄養士の指導も受けています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間全てが広々とした開放感に満ちています。ログハウスでの木の香りは、心の安らぎを共有することができる配慮が見られます。居間と食堂に接するバルコニーは、暖かな外気に触れる工夫があり、季節感を肌で感じることができます。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の好みによって、馴染みの家具や生活用品が持ち込まれており、居心地の良い空間となっています。居室に設置された収納庫は木目模様で温かな雰囲気があります。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。